

お知らせ

リコー会長がJCLP共同代表として、気候変動問題への科学的分析の活性化を環境省に提言

2023年6月22日

株式会社リコー

株式会社リコー会長の山下良則は、JCLP（日本気候リーダーズ・パートナーシップ）共同代表として6月16日に、「異常気象と気候変動の関連を明らかにする科学的分析（イベント・アトリビューション）の活性化」を環境省に提言しました。

イベント・アトリビューションとは、スーパーコンピュータで異常気象を再現し、原因が温暖化かどうかを解明する手法で、近年では直近の異常気象と気候変動の相関を短期間に高精度で分析可能になったことでも注目されています。欧米では研究規模が大きく、複数の異常気象に対し、迅速かつ網羅的に分析されています。

日本国内でも本分析を活用することにより、異常気象と気候変動の関連を明らかにし、国民一人ひとりが気候変動への取り組みを自分ごととして認識・理解をできるよう、日本における研究体制（予算・体制・省庁連携）の拡充および速報性・網羅性・発信力の強化を求めました。

リコーグループは、JCLPをはじめとしたサステナビリティに関する国内外のイニシアチブへの参画やアドボカシー活動を通じて、持続可能な社会の実現に向け積極的に協働活動に取り組んでいきます。



左から、株式会社メンバーズ 常務執行役員 西澤直樹氏、
株式会社リコー 代表取締役会長 山下良則、
環境省事務次官 和田篤也氏、
スリーエムジャパン株式会社 代表取締役社長 宮崎裕子氏

参考

JCLPは、持続可能な脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち、積極的な行動を開始すべきであるという認識の下、2009年に発足した日本独自の企業グループで、リコー会長の山下が共同代表を務めています。現在（2023年6月時点）までに異業種から242社が集い、加盟企業自らが脱炭素化にコミットし率先して行動すると同時に、企業の前向きな声を国内外の政策決定者に届ける行動を起こしてきました。

関連情報

JCLP

リコーグループのイニシアチブへの参画とアドボカシー活動

| リコーグループについて |

リコーグループは、お客様のDXを支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています（2023年3月期グループ連結売上高2兆1,341億円）。

“はたらく”に歓びを 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>

このページの内容は発表時のものです。

既に販売終了になっている商品や、内容が異なっている場合があります。

[戻る](#)

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [2023年のお知らせ](#) >

リコー会長がJCLP共同代表として、気候変動問題への科学的分析の活性化を環境省に提言

リコーについて	株主・投資家情報	サステナビリティ	技術	ニュース
トップメッセージ		イ	技術開発について	ニュースリリース
企業理念	経営方針説明会	環境	リコーの技術一覧	お知らせ
会社基本情報	事業説明会/ESG説明会	社会	リコーテクニカルレポート	重要なお知らせ
国内拠点一覧	決算説明会	ガバナンス	リコーデザイン	ストーリーズ
海外拠点一覧	決算短信	情報セキュリティ		
統合報告	有価証券報告書	製品・サービス	採用	
広告宣伝・企業紹介	事業報告書(招集通知/株主通信)		新卒・キャリア採用	
文化・スポーツ活動	株主総会		障がい者採用	
	株式基本情報		インターンシップ	
	株主還元について		関連会社の採用	
	個人投資家の皆様へ			

[リコーについて](#)

[株主・投資家情報](#)

[サステナビリティ](#)

[製品・サービス](#)

[技術](#)

[採用](#)

[ニュース](#)



[一覧へ](#)

[Page Top](#)

[個人情報保護について](#)[ご利用条件](#)[商標について](#)[アクセシビリティ](#)[サイトマップ](#)[お問い合わせ](#)

